

# 第1回

## eポートフォリオ入門

# 講義概要

# 【 1 】 eポートフォリオとは何か

## ( 1 ) イントロダクション

「ポートフォリオ」とは、自分の学習記録などを入れていくファイルのようなものです。自分の学習の足跡を全てそこに蓄積することができます。ポートフォリオ学習は生涯学習の足跡を蓄積するのに最も適した学習法です。

面白くないものはどの道、長続きしません。ポートフォリオ学習で大切なことは自分の「興味」。自分で自分の「興味」を引き出し、それを育てていくことでポートフォリオ学習を進めることができます。

「eポートフォリオ」はパソコンを使って作るポートフォリオです。eポートフォリオはパソコン1台あればよいこと、従来の紙のようにかさばらないこと、蓄積がしやすいこと、絶えず更新できること、情報が共有できることなどにメリットがあります。

## ( 2 ) 興味引き出し法

ポートフォリオ学習を進めやすくするコツはちょっとした道具を持つこと。デジカメ、ビデオなどを学習に活かすとポートフォリオの素材が作れるので、学習にはずみがついて面白くなります。日常の「発見」や「感動」は興味を育み、学習を豊かにする原動力。それをポートフォリオにまとめると表現することの面白さを引き出すことができます。表現に磨きをかけ、自分に磨きをかけていきましょう。

## ( 3 ) 「e」のアドバンテージ

従来のポートフォリオと「e」のついた「eポートフォリオ」には決定的な違いがあります。それはかさばらず、生涯かけて学習の記録を無制限に蓄積し続けることができることです。生涯学習の最適の学習方法としてもおすすめします。たくさん蓄積したものは全体がよくわかるように分類したいものです。「PushCorn」のようなeポートフォリオ学習支援ツールを使うと、それが初心者からでも容易に始めることができます。画像の加工処理など煩雑な手間からも解放され、デジカメで1日50枚の写真を撮ってもその日のうちに整理できます。

## ( 4 ) eポートフォリオは夢の実現

かつて人類は、ロゼッタストーンのような重たいものに学習したことを記号にして刻みました。それがやがて紙に記録するように進化しました。さらに、今日ではパソコン1台で何でもできる「eポートフォリオ」に進化しました。なぜこのように技術が進化して来たのでしょうか。それは、大脳の情報処理の構造が情報を記憶し分類するようになっているからに他なりません。「eポートフォリオ」はいわば大脳の中にあるポートフォリオの機能を外在化し、その人の理解や記憶を支援するものです。それによって主体的に自己開発をすることができます。eポートフォリオ学習は、個々人の望ましい特質をその人自身が引き出すことのできる人類の夢の情報メディアの実現です。

## 【2】eポートフォリオを作ってみよう

### (1) eポートフォリオで生き甲斐づくり

ポートフォリオ学習の面白さに一度気づくと、その面白さは増幅されてさらに面白くなります。今自分の興味あること、学習したことを綴っていくと、それが未長く残ります。自分の記録、履歴になって生きたことの証になります。日々やっていることを生涯記録すると、ポートフォリオが「自分史」のようなものになります。「e」が付いたポートフォリオは、ある意味、これまで誰も経験したことのないことです。若者は「自分探し」の記録に、一定の年齢を過ぎた人は、これまでの振り返りの記録に、またこれからの生き甲斐づくりに役立ててみてはいかがでしょうか。

### (2) eポートフォリオの第一歩

ここでは誰もが気楽にその一歩を踏み出せる考え方と道具立てを紹介しましょう。

1ページ作ることができれば、2ページ目も3ページ目も作ることができます。するとやがては生涯続く膨大なポートフォリオに成長します。1ページも作らないと、永遠に何も残りません。

これを誰もが踏み出せるようにするには、やさしくeポートフォリオを作ることのできる道具立てが欲しいところです。「PushCorn」という道具はこれを誰もがやさしく始めるのに役立ちます。1万ページ、10万ページと増えても、さらに10年、20年...と続いてもそれを「情報アーキテクチャ」(情報の入れ物の構造)が支えてくれます。慣れてきたら情報の分類をして蓄積したものを整理しましょう。始めるのも易しく、奥が深いと言えます。

こういう面白さを実感するには始めることが何よりです。1ページ、2ページ作ったらポートフォリオのサイトをインターネットに公開しましょう。

### (3) eポートフォリオのアドバイス

eポートフォリオを作ろうとすると構えてしまう人が多いようです。それはとてももったいないことです。一日の体験を綴るのもポートフォリオ作りになります。体験を綴ることで感動や発見を表現できます。何を学習したかをまとめることができます。趣味にも遊びにも大いに活かして下さい。

5年も10年も経つと、同じ人でも興味も変われば、知識の深さも変わっていきます。そこでeポートフォリオはなるべく大風呂敷な入れ物にして全てを包むことをおすすめします。

1ページ、1ページと作りましょう。これが小さくても大きな第一歩になります。

### (4) 面白さを無限大に

教えることは学ぶことよりも10倍面白い。これからの時代の学び方はお互いに教えてあげたり、教えてもらったりのgive and takeの学び方。これを「協働学習」と呼ぶことにしましょう。人に教えることは最良の学習方法です。隠れていた自分の能力がみるみる引き出されて自分を高めていきます。eポートフォリオ作りの面白さを他の人にも伝えて、その面白さを分かち合いましょう。

「eポートフォリオ」は「IT活用で生涯学習を80倍面白くする方法」です。なぜ80倍か。この問いに皆さんがアイデアを出してくれました。8は横にすると(無限大)無限大かゼロか。哲学的なメッセージだという指摘もありました。

1ページ作れば。ゼロは永遠にゼロ。これがeポートフォリオの究極の問いかけかもしれません。皆さんも、自分「興味」をポートフォリオ作りで引き出しながら、面白さを80倍と言わず、1000倍でも2000倍でも増幅していただきたいものです。

